

■ 以下から**ひとつ**選んで論じなさい。書き始める前に、①～④のいずれかを表記してはじめてください。

①「時空間の分離・再結合」「行為の再帰的モニタリング」のキーワードを用いて、近代化から再帰的近代化へ至る歴史を説明せよ。その上で、再帰的近代における問題、課題はどのようなものか、講義に即して記述し、講義で学習したことを参考に克服方法を論述せよ。

②戦後から現代にいたる「現実認識」の歴史的変遷について、講義に沿って説明せよ。その上で、不可能性の時代に生きる上で、メディアはどのような役割を果たし得るか、そしてどのような役割を果たすべきか。講義で学習したことを参考に論述せよ。

③人と技術をつなぐメディア＝媒介物としてのサイボーグ技術とゲノム編集技術について、講義に沿って説明せよ。その上で、それらに通底する問題を、あなたが考えたキーワードを設定した上で論述せよ（講義内容を踏まえているかどうかを問うので、技術については講義内容に即して書きなさい。自分の知識を披露するだけでは点数は取れません）。

④イノベーションについて、講義に沿って説明せよ。その上で、日本のイノベーションの停滞をマスメディア・メディア論の視点から考察し、論述。（難易度高）

→実現不可能な感想レベルの「日本はこうしたら良い」という論は認めない。

■ 注意事項①

・文字数は1700字以上4000字までです。

・提出期限は2024年1月21日（23:59分）までです。時間的に余裕はあるかと思いますが、はやめに書いた方がいいと思います。

・問題回答はword等のファイルではなく、いつもの講義課題と同じように、直接記述した上で、最後に（文字数●●字）

と表記してください。

→なお、文字数は以下のサイトから調べられます。

<https://phonymianist.sakura.ne.jp/convenienttool/strcount.html>

※word等の準備がない学生等を考慮してのことです。文字数を調べたりと面倒かもしれませんが、ご協力ください。（また、400以上のwordをひとつずつ開くのは大変な重労働なのです。。ご協力ください。。）

・ネット上の文章をコピーする行為（コピペ）が発覚した場合は0点になりますので、絶対にしないでください。また、配布した各講義資料（PDF）の言葉はそのまま使用して構いませんが、基本は自分の言葉で書くことを念頭に置いてください。

・授業内で提示した資料以外の資料を用いた引用は基本的に禁止、場合によっては減点になる可能性が高い（後述）

■ 注意事項2：「説明」と「論じる」ことについて

・テストは教員に対してではなく、この講義を受講していない友人にあなたが書いたものを読ませて理解できるかどうかを問います。故に、自分の言葉で説明できているかを問います（ただし、です・ます調ではなく、である調で記述すること）。

→専門用語を説明無しに利用するケースが目立ちます。友達はその言葉を聞いて、理解できるかどうかを考えてください。

・説明とは、この講義で学んだことを自分の言葉でまとめて提示することです。要約と言い換えても構いません。

・レポートで求める「論じる」とは、習ったことを「説明」するのではなく、自分で考えた内容を相手に説得的に記述することです。それは単なる「感想」ではなく、講義内で学んだ知識を吟味し、論理的にある結論を導くことを求めます。社会人にとっては「論じる」ことができるかどうかが強ク問われます。

・レポートでは、すべて解決できるような画期的な解決法を求めてはいません（学部生には無理です）。そうではなく、学んだ知識を利用して、自分でいかに考えたか、知識と格闘したかを評価します。

→そのため、レポートでは講義で扱ったこと以外の出来事を調べて記述することは、基本的に認めません。してもいいですが、ほとんど加点にはならないばかりか、文字数を埋めようとしていると判断すれば減点されますのでご注意ください。何が狙いかといえば、講義で学んだこと以外の知識で穴埋めするのではなく、講義内の知識から、自分で思考を深めてほしいということです。ネットから離れて、空気を読まず、「自分で」考えてください。

■ 注意事項3:生成AIについて

・生成AIの使用については「認めません」。生成AIの使用が発覚した場合は大幅な減点、場合によっては0点になります。

→この講義の受講者であれば、理由は言うまでもないでしょう。

■ 最後に

以上です。前期からの方は長い間ありがとうございました。後期からの方は、短い間でしたがありがとうございました。

「メディア政策論」というタイトルの割には、「いわゆるメディア（一般的に想像するメディア）」の枠にとらわれずいろんな問題を扱いました。「もっとテレビやラジオの話して」と思った受講生もいるかもしれませんが、講義を通して「メディア=媒介」という観点を、広い視野で捉えてもらえたら幸いです。なにより、あなた自身も「メディア」です。自分ごととしての「メディア」について考えていただければと思います。

抽象度が高い問題が多かったかと思いますが、生きていけばいくほど、答えがないこと、答えがわからないことが山積みになっていきます。そんな中で、問いから逃げず、さりとして問いの前で立ち尽くすだけでなく、問いとうまく付き合っていく体力を、大学の4年間で学んでいただければ幸いです。

長くなりましたが、みなさんのこれからの人生のご多幸をお祈りしています。私もなんとかやっていくので、みんななんとかやっていきましょい！

最終レポート、がんばってください！

■ 解説

上記で説明しているとおり、webや生成AIの使用を認めず、講義で学んだ知識の中で、自らの思考を鍛えることを目的としたレポート課題です。選択式なので、自分が学んだ中で興味関心をもったものに取り組めるかと思います。